

校 訓：人のお世話にならぬよう，人のお世話をするよう，そして報いを求めぬよう



薫 陶

学校だより くんとう
9月号 令和5年9月7日

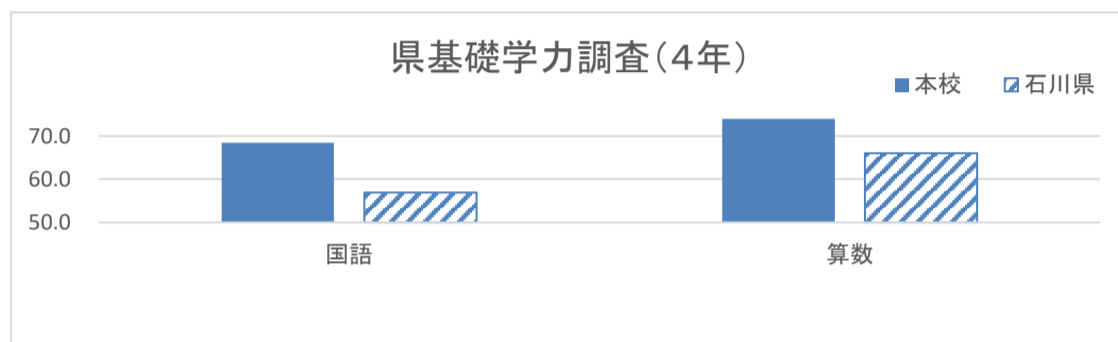


七塚小HP QRコード

令和5年学力調査結果のお知らせ

初秋の候、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。今回の特別号では、1学期に実施した学力調査(4～6年)の結果をお知らせします。これらの結果を今後の教育活動に生かしてまいりますので、引き続きご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

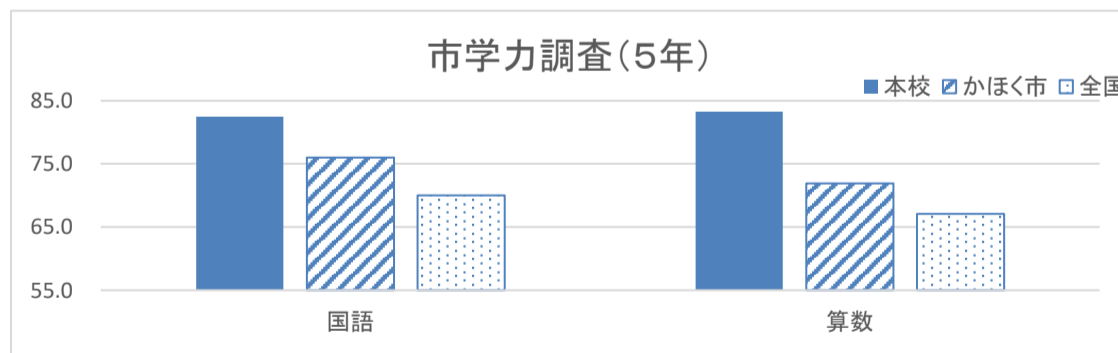
令和5年度 県基礎学力調査(4年)



- 4年生の国語では、県平均正答率を大きく上回った。
- 話の中心や話す場面を意識して、間の取り方を工夫したり、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえたりすることはよくできている。
- 辞書の使い方や指示語の役割、基礎的な漢字を読むことについての理解ができている。
- ▲ 複数の資料を関連付けて読んだり、文章の中から目的を意識して、必要な言葉や文を抜き出して書いたりする力が弱い。
- ▲ 促音や拗音が入ったローマ字表記を読む力が弱い。

- 4年生の算数では、県平均正答率を大きく上回った。
- 多くの設問で県平均を上回った。
基本的な計算や数の仕組み、重さや時間の単位について理解できている。
- ▲ 図形のものゝ形に注目して、形ゝ構成について考えたり、棒グラフからデータの特徴をとらえたりする力が弱い。

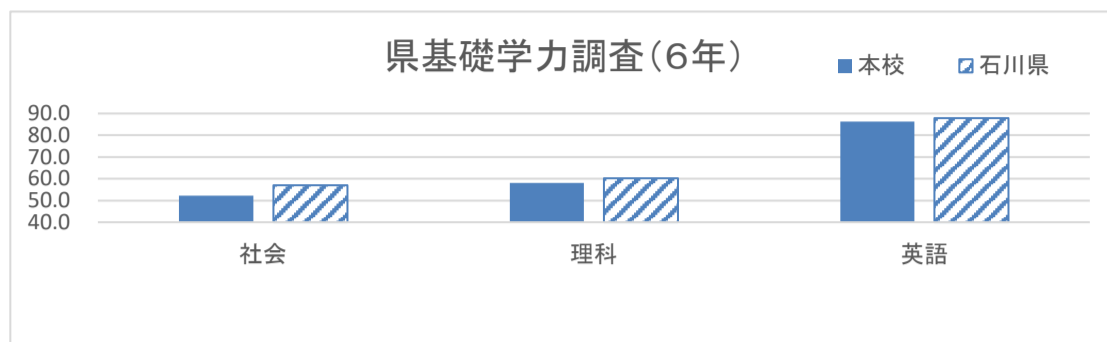
令和5年度 市学力調査(5年)



- 5年生の国語では、全国や市平均正答率を大きく上回った。
- 漢字の読み書きや漢字辞典の使い方を理解している。
- 内容の中心を明確にし、自分の考えを伝える文章を書くことができていた。
- ▲ 連用修飾語についての理解や、意見の相違点に着目して考えをまとめる力が弱い。

- 5年生の算数では、全国や市平均正答率を大きく上回った。
- 小数や分数、グラフなど、多くの設問で市・全国平均を上回った。
- ▲ 切り捨てて計算した結果が目的に合う理由を、言葉や数を使って説明する力が弱い。

令和5年度 県基礎学力調査（6年）



▲ 6年生の社会では，県平均正答率を下回った。

- 石川県全体の地形の様子や地図記号について理解できている。
- 年表をもとに，生活で使われる道具の移り変わりを読み取ることができている。
- ▲ 農産物，畜産物，水産物などに分類するなど，社会科の用語を正しく理解できていない。
- ▲ 縮尺を利用して正確に長さを求めたり，資料をもとに特徴を捉え，正しく説明したりする力が弱い。

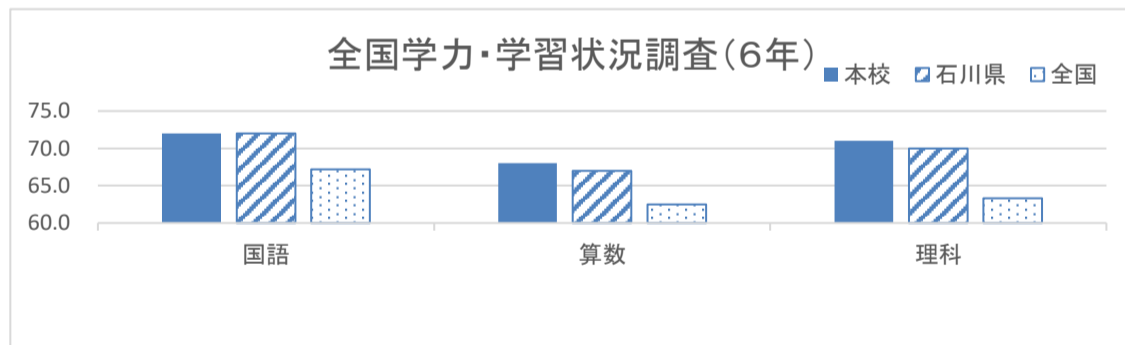
▲ 6年生の理科では，県平均正答率を下回った。

- 昆虫やメダカなど，生物の学習について理解できている。
- ▲ 天気の変化や空気などについて，雲画像や実験結果を基に，必要な用語を使って表現する力が弱い。

▲ 6年生の英語では，県平均正答率を下回った。

- 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ったり，大文字・小文字で書いたりすることができている。
- ▲ 日常生活に関する身近な事柄について，必要な情報を聞き取ることができていない。

令和5年度 全国学力・学習状況調査（6年）



○ 6年生の国語では，全国の平均正答率を上回り，県平均正答率と同等だった。

- 資料や文章を読み，書かれている内容として適切なものを選択することはできていた。
- ▲ 条件に合わせて，文章を読んで分かったことをまとめて書いたり，資料を基に問題点や課題点を書いたりする力が弱い。

○ 6年生の算数では，全国や県平均正答率を上回った。

- かけ算やわり算を使った文章問題や筆算の方法，分配法則などについては，理解できている。
- ▲ 図形の角度についての基本的な知識はあるが，文章を読んで題意をとらえながら求められている角度について答えることができていない。

〈これからの学習指導で力を入れること〉

国語

問題の題意をつかませるため、問題文や文章、資料の中の大事な言葉に線を引かせる指導を徹底します。また、資料から必要な情報を読み取り、条件に合わせてまとめる活動を取り入れます。その際、話し合いから自分の考えを修正したり付け足したりする時間を確保し、最後まで書き切らせる指導をしていきます。

算数

基礎・基本の定着を図るために、児童の苦手意識がある問題に継続して取り組み、分からないところを見極め、丁寧に指導していきます。また、問題の題意をとらえながら、求められてる内容について、必要な数や言葉を使って説明する機会を多く設け、最後までしっかり書き切らせる指導をしていきます。

理科

基礎・基本の定着を図るために、教科の用語を掲示や短冊で示します。また、観察や実験において、目的をもって具体的に見通しをもつ中で、結果を基に考察し、必要な理科学用語を使って自分でまとめる時間を設定します。その際、話し合いから友達の考えなどを取り入れながら、正しいまとめとなるように修正できるように指導していきます。

社会

基礎・基本の定着を図るために、地図帳の使い方や縮尺、地図記号等の問題に適宜取り組み、丁寧に指導していきます。また、複数の資料から必要な情報を読み取り、分かったことや問題点などを自分の言葉でまとめる時間を多く設定し、必要な情報の読み取り方や意図に合う答え方について指導していきます。



〈4年・6年質問紙調査より〉

- 「学校は好きだ」の質問に対し、肯定的評価をした児童が4年生で100%、6年生で85.4%おり、学校生活を楽しく過ごしている様子が見られます。各教科の「勉強は好きだ・よく分かる」の質問に対しても、肯定的評価をした児童の割合が多いです。今後も、児童にとって「楽しく」「分かる」授業を心がけ、安心・安全に過ごせるように配慮していきます。

- 「コンピュータなどのICT機器を使って勉強すること」については、肯定的評価をした児童が4年生は90.5%、6年生は90%おり、授業の中でタブレット端末を活用して学習を進めていることが分かります。そのため、児童のICT機器の技能も向上しています。今後も、学年に応じて必要な場面で使用し、児童が主体的に活用できるように指導していきます。

- ▲ 「平日に1日あたりテレビゲーム（スマートフォンなどを使ったゲーム含む）をしている時間」については、4年生では1時間以上2時間より少ない児童が52.4%で一番多く、4時間以上の児童も数名おり、生活習慣の乱れが心配されます。学校でも継続して指導を行っていきませんが、各ご家庭でも、電子端末機器の利用の仕方についてルールを決めたり、話し合ったりしていただけたらと思います。

- ▲ 「毎日、同じ時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の質問に対し、「している」と答えた児童がどちらも36.6%と県と全国の平均を下回っています。2学期が始まり、身体と心の休息や安定が必要です。学校でもすすくすくカード等の取組を行っていきませんが、各ご家庭でも、再度生活習慣の見直しをしていただけたらと思います。

